

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査で得られた病理組織標本・臨床写真・パッチテストの結果などを使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、病理組織標本・臨床写真・パッチテストの結果を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

ヘナ使用後に生じた色素沈着に対する症例蓄積研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院皮膚科

【研究責任者】 宮脇さおり（皮膚科 助教）

【研究代表者】 宮脇さおり（愛媛大学医学部附属病院皮膚科 助教）

【研究の目的】

過去に受診されたヘナ使用後に色素沈着を生じた患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、病態の把握に関する研究を行うことといたしました。この研究はヘナ使用後に色素沈着を生じた方に対する有効な検査方法、治療方法の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2001年1月から2016年12月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうちヘナ使用後に色素沈着を生じた患者さんと診断された患者さん

（利用するカルテ情報） 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、皮膚臨床所見 またはその臨床写真、治療状況 パッチテストの結果 等

（利用する試料） 通常の診療で行った皮膚生検により得られた病理組織標本

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータ/試料は、匿名化されて、愛媛大学医学部皮膚科にて解析が行われます。あなたの情報を含む多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院皮膚科 宮脇さおり

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院皮膚科 宮脇さおり
791-0295 愛媛県東温市志津川
Tel: 089-960-5350